

軍用機が飛び回る厚木基地

2016年9月8日 (No2)

大和市立福田小

周辺地域に250万人が暮らしている



軍用機が飛び回る厚木基地周辺に250万人が暮らしている。

今でも年に数回、厚木基地の米軍機の部品落下事故が続いている。

航空機のスピードと重量加速度が乗った落下物は、弾丸と同じ。ネジ一本でも、当たった人や物を引き裂き、貫く威力がある。民間航空機と違って、軍用機は、安全性を犠牲にしているから事故はあって当然、とも言われる。

厚木基地周辺は、首都圏のベッドタウン。上空から見た周辺市街は、一面の住宅街だ。ほぼ全域が厚木基地の航空機騒音被害区域に指定されている大和市は、神奈川県でトップクラスの人口密集地だ。この地に住む人たちは、過去の航空機事故の大惨事を記憶しつつ、今も死や大ケガの事故と隣り合わせに暮らしている。

基地の北1キロの地点の飛行記録数は年間2万件近く。この爆音被害訴訟は現在、最高裁に係属中である。静かで安全な街はなぜ私たちのもとに戻らないのか。

第四次厚木爆音訴訟団

神奈川県大和市桜森3・5・3フント1F
電話：046・200・5505

最近の部品落下・紛失等事故

日時	場所	内容	所属
2016.7.19	不明	部品落下	海上自衛隊
3.31	不明	部品落下	海上自衛隊
2.17	不明	部品落下	海上自衛隊
2015.11.26	不明	部品落下	海上自衛隊
8.4	不明	部品落下	海上自衛隊
7.27	上空	燃料漏れ	海上自衛隊
6.1	不明	部品落下	海上自衛隊
4.15	不明	部品落下	海上自衛隊
2014.1.9	綾瀬市	部品落下・駐車場の屋根破損	米海軍
2013.12.16	三浦市	墜落（米軍は不時着と発表）	米海軍
2013.2.4	綾瀬市	部品落下	海上自衛隊
2012.2.8	大和市	部品落下 車両損傷	米海軍
2011.2	平塚市	河川敷不時着	米海軍
2011.2	寒川町	部品落下	米海軍
2010.3	不明	部品落下	米海軍
2010.1	綾瀬市	部品落下 民家損傷	米海軍

※これ以前も多数発生している。

※※海上自衛隊は事故の内容を「部品紛失」として発表しているものが多いが、離陸後に紛失していることからここでは「部品落下」という表現を使用した。



2012年2月には、厚木基地のすぐ北側を通る県道近くで米軍ジェット機が部品を多数落下させた。



厚木基地にもオスプレイが何度も飛来する。2015年もハワイとカリフォルニアで墜落事故を起こした。県や周辺自治体は、安全性について懸念を表明している。



2013年12月16日、三浦半島三崎口に米軍ヘリが墜落した。米軍はこれを不時着と発表している。この付近は翌日から歳の市が開かれることになっており、墜落現場はその駐車場の予定地だった。

もう許せない・我慢の限界だ



航空機が住宅地に墜落すると死傷者を出す大惨事になるのは必至だ。新聞記事は1964年9月8日、大和市の鉄工所に米軍機が墜落したことを伝えるもの。



1977年9月に起きた米軍機の墜落事故では母子3人の命が失われた。遺族が建てた「愛の母子像」は、横浜市内の港の見える丘公園の片隅にある。